

食肉加工センター建設の動きについて

黒沼 俊幸  
議員

町長 まだ結論は出ていない

**問** 9月の第2回定例会で食肉加工センターの建設場所について本町の中茶安別地区に予定していたが、下流域の漁業協同組合の反対により別の場所を選定するとの考えが示された。

今回の第4回定例会までに新たな場所の選定は何回行ってきたのか。

西別川水系と釧路川水系に分かれるが、何ヶ所を調査中なのか。結論はいつ頃出せるのか伺いたい。



**答** 別寒辺牛川水系を除いた場合、西別川水系あるいは釧路川水系となる。

新たな場所の選定は、西別川水系4ヶ所、釧路川水系5ヶ所を選定し、現地調査を2回、検討委員会を2回開催し、根釧管内の農業者、農業団体が利用しやすい条件、アクセスの条件、周辺環境の条件などを比較検討する中から絞り込みを進めている。

結論を出せる時期は協議事で、いこと示せない。

一般質問

町政を問う

今後の観光についての考えを

後藤 勲  
議員

町長 環境省と協議を進めていく

**問** 1、サルボ展望台の維持管理の徹底をしてほしい。

2、標茶駅横にあるバス待合室トイレの改善と階段のスロープ及び腰掛椅子の改善が必要である。

3、多和平を道の駅に出来ないのか、又キャンプ場の整備及びドッグランを併設する考えはあるのか。又、特にトイレの改善を望む。

**答** 1、ルートの補修等については、随時行っており、本ルートの剪定及び散策路の整備については、地元の見も含め環境省と協議を進めていく。

2、バス待合室の改善については、本年度トイレ等の一定の改善を行っている。

3、ドッグランの新設については、育成牧場運営審議会にて、他の動物を入れることは好ましくない、設置には反対であるとのことであり、町としても設置困難と考えている。多和平のトイレについては現状と良いと考えている。



多和平のトイレ

深見 迪 議員

## 五十石駅の廃止は容認できない

### 町長 受け入れ難いがJRの決定があり止むをえないと判断

**問**

10月4日JRは無  
人駅5路線18カ所  
のうち、4路線10カ所  
について来年3月に廃  
止する方針を固めたと  
報道され、このうち大  
半の自治体が廃止を容  
認する構えであるとし  
ている。その中に五十  
石駅があるが、JRと  
どのような話し合いを  
したのか。また、住民  
への説明会などの経緯  
について報告を求める。

さらには、本町として  
五十石駅の廃止を受け  
入れたのかどうか伺う。  
本町沿線の駅はまち  
づくりの面からも、本  
町の歴史や文化の面か  
ら重要な役割を果た  
し、また、これからも  
大きな役割を持つもの  
であると確信している。したがって、  
駅周辺地域の住民だけではなく全町  
民との話し合い、公聴会等が必要で  
あると考えるがどうか。

い。五十石駅については、利用者が  
一人でもいれば存続のための努力を  
していくべきと考えるがどうか。

**答** JR北海  
道から、



五十石駅での乗車

昨年6月、本  
年4月、7月、  
8月と、五十  
石駅の廃止に  
向けて検討を  
しているとの  
旨が伝えられたが、到底賛同できる  
ものではないとの本町の意向を伝え  
ている。

地域の意見を聞くべきとの議会の  
意向を踏まえ10月4日、11月15日に  
JRも含め周辺住民に直接説明する  
機会を設定した。

今後直接利用される地域住民、町  
民の代表である議会との意見交換に  
よって対応していきたい。存続のた  
めに直営で施設の維持や管理をする  
のは困難と考えている。

深見 迪 議員

釧網線廃止問題について  
どのような取り組み  
をしているか

**問**

JR北海道は、安全投資や修繕、  
検査、保守などの計画を示す一  
方で、11月18日「JR単独での維持  
が困難な路線」なるものを発表した。  
その中に釧網線があるが、釧網線を  
めぐって、その後JRからどのよう  
な話があったのか。また、沿線自治  
体とどのような話し合いを持ち、今  
後の対応について協議したのか伺う。  
このような情勢の中、釧網線維持  
のため私たちが何をすべきなのかに  
ついて町長の所見を伺う。

**答**

11月17日、JR本社の部長が来  
標し記者会見で発表する内容  
「JR単独での維持が困難な路線」  
についての説明があったが、その後  
について話はない。

また、沿線自治体との話し合いは、  
現在JRからの具体的な提案はな  
く、協議の場の設定はされていない。  
本件について一義的にはどのよう  
にしたら存続できるのかであり、本  
町としても積極的に議論に加わり、  
ともに対策を  
講じていきたく

い。また今後  
の推移を注視  
しつつ対応し  
ていきたい。



深見 迪 議員

国保の広域化に伴う住  
民負担増は回避すべき

**問**

北海道が保険者になった場合、  
標茶町は20%以上国保税が上が  
ることになるといふ試算が発表され  
た。その内容は、夫婦二人家族で所  
得200万円のモデル世帯で金額に  
したら年間5万9,800円の値上  
げとなる。これについての所見を伺  
う。

激変緩和の措置は、国保税が上  
がった場合どのような形で措置され  
るのか。

保険者が北海道になったとしても  
住民の負担軽減のために、従来の  
ルール外繰入に相当する町からの形  
を変えた支援なり補助なりをすべき  
と考えるがどうか。

**答**

今回の仮算定は、新たな制度へ  
の移行準備の一環として、納付  
金の算定方法や激変緩和措置の対象  
範囲等を市町村と協議する際の参考  
として公表されたものだ。これはあ  
くまで必要な費用は保険料や国庫負  
担金などにより賄うとの原則にてら  
して合わせた場合の数値と受け止め

「ことばの教室」の再会を

渡邊 定之  
議員

教育長 免許所有に向けた支援を進める

**問** 私は「言語に障がいのある子どもに効果的な言語教育ができる」「ことばの教室」の再開を「」について質問する。

以前は、中心校に「ことばの教室」があり、又その後子ども発達支援センターふれいぱるでの言語活動の通所指導が行われていた。

言語に心配のある子どもが増加しているのになぜそれが行われなくなつたのか。また、ことばの指導を必要としている児童の人数は本町でどのくらいいるか。

特別支援学級在籍で言語に障がいのある児童や、通常学級に在籍

している。

激変緩和については本町については、制度の対象とはならない。

町独自の激変緩和措置も含め、段階的な解消について検討していきたい。



ふれいぱる

し、言語の通級指導の必要があると認められる児童に対して、適切な言語指導を行える教職員は、本町に何人くらい配置されているか。また、もし配置されていないのであれば、釧路教育局へ言語指導専門の教職員の加配を要請すべきと考えるがどうか。

障がい児への指導・教育は、早期発見、早期指導が原則である。加配が早期に実現しない場合でも就学前の子どもたちも含め、適切な言語指導が受けられるよう町独自で専門的な言語教育、指導ができるよう環境をつくるべきと考えるがどうか。

**答** 以前は、言語治療教室を開設したが、その後、他の発達にも遅れや心配を抱えるケースが多いことから、現在の「子ども発達支援センター」の体制となつた。

現在、言語も含めて療育指導を受けている通所児童数は、毎年20名を超えている状況となっている。

現在、本町の言語学級では、小学校1校で2名の児童が在籍し、教職員は1名配置されている。特別支援学級を担当する教職員に対しては、特別支援学校の免許所有に向けた支援を進めるとともに専門性を高める研修等の充実に努めていく。

**「地域振興事業に対する支援」の活用で更なる地域振興を**

渡邊 定之 議員

**問** 中虹別地域ではブルーベリーの栽培で本事業を活用した。その結果、まだまだ実績としては確かなものではないが、この事業を利用して行ったことが、地域おこし、まちづくりの面でも非常に役立つと考える。

助成は4分の3となっているが、

これが地域会の負担になり、次への事業の発展を妨げる結果になっているように思う。負担がさらに軽減されて制度の充実をし、推進すべきと考えるがどうか。



ブルーベリー

**答** 議員指摘のブルーベリーの栽培は、憩いの場を整備する事業項目で一定の活用をしてもらつた。町振興条例での地域振興事業に対する補助は、それぞれの自治会において地域課題の解決や地域振興の方策として制度活用をしている。補助を4分の3としたのは、地域の自主性と行政支援のあり方として妥当な線だ。

次への事業については、補助の目的が重要だと思つたので、申請内容を聞いたうえで判断すべきものと思つた。

学校給食の食物アレルギー対応と共同調理場の建替を

鈴木 裕美 議員

教育長 整備方針の検討を進める

食物アレルギー等のある児童生徒に対しては個々の状況に応じた対応に努めることになっていく。本町の共同調理場は築後35年で食物アレルギー対応を想定した施設となっていないため代替食を家庭から持たせる等の対応と聞いている。児童生徒の食物アレルギーの状況はどのようになっているか。家庭からの代替食は一ヶ月で何回くらいなのか。代替食はどのようになっているか。

標茶は釧路管内の調理場の中でも古いほうだ。二次感染防止からも区域毎、部屋単位で作業区分することになったこともふまえ、安全で安心な給食を提供するために一日も早い建て替えをするべきと考えるがどうか。

学校給食調理場では毎年、年度当初に各小中学校を通じて保護者に対し児童生徒の食物アレルギーの調査を実施している。今年度の状況は小学校6校で21名、中学校3校で9名、計30名が何らかの食物アレルギーがあると回答している。家庭からの代替食持参は2名おり、月の約半数程度である。給食費は献立メニューによって提供しない月は徴収していない。

給食調理場は35年経過しており、建て替えが必要な時期と認識している。財政見直しを考慮し、関係各課で整備方針の検討を進めていきたい。



消費生活相談員の配置を

鈴木 裕美 議員

問

国の地方消費者行政推進交付金を活用し、北海道を通じて本町も消費者行政推進事業を実施している。

答

北海道は平成20年、国の推進交付金を活用して消費者行政活性化基金を設置し、市町村が行う消費生活相談窓口の整備等に財政支援を行っているが、この基金の活用はどのようになっているか。この交付金等を活用して、本町独自で相談員を配置してはどうか。また、相談員の資格取得の経費を町で負担する考えはないか。

問

消費者行政活性化基金の活用については21年度と24年度に申請し、24年度申請については32年まで活用するよう手続きしている。

答

消費者生活相談体制は企画財政課商工労働係が窓口となっている。管内消費者生活相談体制として釧路市が事務委託を受けている。本町独自の消費者生活相談員体制については、担当課における現状の体制で十分対応できると考える。

「憩の家かや沼」の現状の運営と今後について

櫻井 一隆 議員

町長 早期に改善計画を作成する

問

町は、釧路湿原国立公園の中にある唯一の温泉ホテルである「憩の家かや沼」の運営を行っている観光開発公社には大株主として1,594株、1,594万円を出資している。この公社役員として代表取締役には町長を筆頭に経営に参画し日夜尽力されていると聞いている。

先月には、新たな調理人も採用され業務に励んでいるが、一般株主や町民は今後の経営存続を大変心配しているので、次の2点について伺う。

① 憩の家かや沼の経営、運営が縮小される

② 憩の家かや沼を今後どう運営していくのか。

現状はどうなっているのか。



憩の家 かや沼

**答** 1点目については、調理スタッフの不足と労働時間等の職場環境の改善のため、宴会、宿泊は制限している。レストランについては、週2回休みとし午前と午後に分けて営業をしている。風呂については従前同様に行っている。

2点目については、町民の財産である憩の家かや沼は守るべき資源で残したいと強く思っている。早期に改善計画を作成する中、役場組織形態の見直しと、公設民営化も一つの選択肢と考えている。

## 予算審査特別委員会 総括質疑

後藤 勲 議員

**問** 標識のため通れないという通報で、本町役場に問い合わせたところ、町道の管轄ではないとの答えだった。親切な対応をすべきではないか。

**答** 電話での対応が悪いとの話については、丁寧に情報を説明しよう。

**問** 町長の旅費が年々増額されているが、少しは減額に向けて努力すべきではないか。

**答** 町長と副町長の分がほとんどで、必要な経費である。

深見 迪 議員

**問** 介護度が上がったても必要な介護サービスは下げるべきでない。

**答** 制度としては過重サービスをするることになる。介護保険制度のルールでいくと厳しい。

**問** 新総合事業の中で、通所介護と通所リハビリを受けられるようにすべきではないか。

**答** 介護と医療は違うが、医療と介護の連携と負担の割合について厚労省は検討中である。本町もさらに研究していきたい。

渡邊 定之 議員

**問** スクールバス運行上、支障をきたす道路状況がある。除雪パトロールはどのように行っているか。

**答** 除雪については関係者で会議を行っている。プラウなどの機械に関する事も委託料に含まれている。業者とも連絡を密に行い今後対応していきたい。



平川 昌昭 議員

**問** 町有財産（土地）売却について新聞折り込みで公表されたが、物件により計画はあるのか。また、麻生団地等のインターネット公売において、今後写真を共に掲載するなどして、情報提供すべきでは。

**答** 今後も一般公募は行い、政策的な売却も考えており、手法については研究していきたい。

**問** 標茶町福祉基金条例は高齢者の顕彰する場合にも使用しているが、今後各種団体などが行う福祉事業の財源として活用するための補助を検討すべきと思うがどうか。

**答** 運用活用は、様々な状況を考えて検討していきたい。

**問** 自宅周りの道路などが凍結したときの散布用砂は、6m程の在庫だが、グループ的に住民が活用する場合の対応はどうか。

**答** 具体的な相談があれば対応していきたい。